

学校インターンシップとは？

Q1 学校インターンシップとは何ですか？

A1 これまでの教育実習とは違って、大学生が早い段階（1・2年生）から、学校現場の実態に触れて、教員の仕事や生徒理解をすすめ、大学での学びを豊かにしていくものです。

Q2 誰が参加できるのですか？

A2 2019年度生から導入されたので、2019年度生と2020年度生のうち、「教職入門」を修得した者です。今年も後期からの実施になりますので、前期に「教職入門」を履修しているか、昨年度に修得済みの学生が対象です。

Q3 大学の単位になりますか？

A3 はい、なります。実習時間によって、1単位と2単位の科目があります。
⇒教育職員免許取得に必要な単位にはなりますが、卒業に必要な単位にはなりません。

Q4 どこの学校で体験できるのですか？

A4 大学と八王子市教育委員会とが協定を結んでおり、八王子市立中学校が中心となります。希望があれば、小学校や高等学校での体験も可能です。

Q5 どのくらいの期間、学校に行くのですか？

A5 1単位の場合は学校での体験活動が20時間以上、2単位の場合は40時間以上になります。後者の場合、毎週半日4時間の体験活動で10日間、2か月半程度で終わります。

Q6 体験活動以外に大学での講義もあるのですか？

A6 はい、事前指導・中間指導・事後指導を大学で行います。

Q7 学校ではどのような体験ができるのですか？

A7 大学としては、生徒理解や教員の仕事に触れてもらうため、授業を参観したり、学級担任や教科指導の補助をしたり、会議や研修会などへの参加も期待していますが、実際には体験先の学校と相談して決定します。

Q8 学校インターンシップを履修するための注意事項は何ですか？

A8 介護等体験や教育実習と同じく、対外的な信用に影響しますので、原則として、一度申し込んだら途中でやめることができません。また、学校には学生としてではなく、教員（実習生）として行きますので、服装や身だしなみ、言動などは社会人としての常識をわきまえる必要があります。また、多くの学生が5・6限に教職課程の科目を履修しているため、大学周辺の学校がお勧めです。後期の時間割を組む際に、どの曜日かの半日を空けておいてください。

Q9 学校インターンシップで学べることは何ですか？

A9 学校には様々な生徒がいること、教職員をはじめ多くの職員がそのために働いていること、生徒の時には見えなかったことを知ることができます。

Q10 具体的にどのように手続きを進めていけばよいのですか？

A10 履修したい学生は、6号館1階の教職課程センターに相談に来てください。履修申請書をお渡しします。決意が固まったら、1号館1階の教務課で履

修申請を行い、その後、事前指導を受けて、10月から体験先の学校に行きます。中間指導・事後指導もあります。

【注意】

- ・2020年度後期の履修に関する相談と教務課への申請については、8月14日(金)を締め切りとします。締め切りまでに申請書を教務課に提出するように注意をしてください。詳細については2部で説明をします。
- ・また、2020年度後期の学校インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の流行状況により不開講とさせていただくこともありますので、ご承知おきください。